



施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	068 農地の保全及び魅力ある農業経営への支援		
総合計画	基本目標	IV 魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名 生活環境部 産業振興課
	基本施策	05 都市農業の育成	
めざす姿	生産基盤となる農地が引き継がれた上で次代の担い手も確保され、魅力ある産業として本市の農業が維持・発展するとともに、直売所等での府中産農産物の販売を通じて、市民に地産地消の取組が浸透しています。		
SDGsとの関連	 		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	127,067,000	55,375,000	74,049,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	66,214,000	15,444,000	32,817,000			
市債	0	0	0			
その他	0	167,000	672,000			
一般財源	60,853,000	39,764,000	40,560,000			
予算現額	108,046,000	63,825,000	0			
決算額	99,736,857	52,166,455	0			
国庫支出金	0	6,304,283	0			
都支出金	47,142,200	10,355,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	71,000	0			
一般財源	52,594,657	35,436,172	0			
執行率	92.3	81.7	0.0			
(人件費)						
職員数	3.17	4.65	0.00			
職員人件費	24,836,338	37,196,843	0			
月額制会計年度任用職員数	1.80	1.96	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	5,847,646	6,307,507	0			
(間接経費)						
間接経費	394,907	532,937	0			
総コスト	130,815,748	96,203,742	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 農地面積	132	実績	127	-	-	119
	ha	達成率	106.7	0.0	0.0	
② 認定農業者数	135	実績	147	-	-	140
	人	達成率	105.0	0.0	0.0	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	農業者の高齢化等に伴う担い手不足や、相続に伴う農地の減少、周辺開発による営農環境の悪化など、都市農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。	評価	目標達成に向け順調に進ちょくした
国・都の政策	本市の農地は全て市街化区域内農地であるため、国の農業振興施策は期待ができないが、東京都は独自の制度として、都市農業の経営力の強化や都市農地の保全に対する支援を行っている。	農地面積については、農地保全や農業振興のための施策を総合的に講じるなかで、目標値程度の減少に留めることができた。 認定農業者数については、アンケート調査を実施し、農業経営改善計画の認定に関心があると回答した農業者に対して個別に声掛けを行うことでニーズを掘り起こした結果、新規の認定農業者が増加した。	
市民ニーズ	都市農業を取り巻く環境は厳しいが、そうしたなかであっても一定数の農業者は意欲を持って農業経営に取り組んでおり、本市の農地の保全や農業の振興に寄与している。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	農業委員会運営事業		主担当部課名	農業委員会事務局			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
							要因の種類(※)								
							1	2	3	4	5	6	7	8	
							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	農業者支援事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							A								
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 令和4年度から令和7年度までの間に新たに農業経営改善計画の認定をした経営体数	1	計画値	1	2	3	4	4	1	2	3	4	5	6	7	8
	経営体	実績	4	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
アンケート調査を実施し、農業経営改善計画の認定に関心があると回答した農業者に対して個別に声掛けを行うことでニーズを掘り起こした。															
							要因の種類(※)								
							1	2	3	4	5	6	7	8	
							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称			主担当部課名				事業種別								
次年度における事業の位置づけ															
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
							要因の種類(※)								
							1	2	3	4	5	6	7	8	
							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	農業者や農業者団体に対する各種補助事業等を展開し、農地の保全と農業経営の向上、地域と共存した農業の推進を図ることができた。また、昨今の原油価格・物価の高騰を受けた緊急対策支援を実施し、本市の農業の安定的な維持に努めた。			
今後の展開	現状の取組を継続して実施するとともに、東京都の制度も活用しながら、農業経営に係る支援の充実を図る。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
府中産農産物の地産地消に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
府中農産物直売所マップの配布や、府中農業を応援するミニコミ誌「府中はたけ日和」発行事業への協力、共同直売所の運営、農業まつりの実施など、市民団体や農業団体と協働して府中産農産物の魅力をPRし、市民の地産地消を意識した消費行動に繋げていく。	従前からの取組を継続して実施するとともに、より効果的な府中産農産物のPR方法や地産地消推進の方策について、市民協働の手法も視野に研究・検討する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ▼府中農産物直売所マップの作成 ▼「府中はたけ日和」発行事業への協力 ▼府中特産直売所の運営 ▼農業まつりの開催 ▼農業品評会の開催 	協働による相乗効果を得ることができ、その効果を市民に還元することができた	従前からの取組を継続して実施するとともに、より効果的な府中産農産物のPR方法や地産地消推進の方策について、市民協働の手法も視野に研究・検討する。

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	069	農業とふれあう機会の拡充	
総合計画	基本目標	IV	魅力あふれる うるおいと活力のあるまち（都市基盤・産業）
	基本施策	05	都市農業の育成
めざす姿	農地・農業の持つ多面的機能が活用され、多くの市民が市内の農地・農業に対して高い関心を持っています。		
SDGsとの関連	 		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	23,932,000	23,409,000	25,276,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	650,000	650,000	650,000			
市債	0	0	0			
その他	5,515,000	4,666,000	4,837,000			
一般財源	17,767,000	18,093,000	19,789,000			
予算現額	20,772,000	23,409,000	0			
決算額	17,901,672	20,426,137	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	562,000	562,000	0			
市債	0	0	0			
その他	4,935,221	4,200,815	0			
一般財源	12,404,451	15,663,322	0			
執行率	86.2	87.3	0.0			
(人件費)						
職員数	1.10	1.35	0.00			
職員人件費	8,618,288	10,799,083	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.04	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	128,725	0			
(間接経費)						
間接経費	234,284	230,719	0			
総コスト	26,754,244	31,584,664	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 本市で幹旋する援農ボランティアへの申込人数	20人	実績 133.3	-	-	-	21
② 農業体験に取り組んでいる市立小学校の割合	81.8%	実績 111.1	-	-	-	81.8
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	都市農地の減少が続く中で、都市住民と農地・農業とのふれあいを通じた食育や福祉の推進、地域コミュニティの醸成など、農業生産だけではない都市農地・農業の役割や価値への再評価が進んでいる。	評価	目標以上に進んだ
国・都の政策	国・東京都の双方において、都市農地・農業の役割や価値への再評価を背景に、都市農地・農業の有する多面的機能に着目した施策を展開しつつあるが、指標への影響は限定的であると考えられる。なお、東京都の実施する広域援農ボランティア制度について、市民のニーズに合わせて適宜紹介している。	都市農地・農業の役割や価値への社会的な再評価や、食の安全や食育への意識の高まりなどの影響も少なくないと考えられるが、市内小学校や市民への細やかな働きかけを継続してきた結果、目標を大きく上回る状況となった。	
市民ニーズ	食の安全や食育への意識の高まりなどを背景に、小学校における農業体験や援農ボランティアも含め、農業とふれあうことのできる機会全般に対するニーズが高まってきている。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	農業まつり等運営事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							A								
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 農業まつりの開催日数	2	計画値	2	2	2	2	2	1	2	3	4	5	6	7	8
	日間	実績	2	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症の影響により縮小開催とはなったが、計画通り2日間の日程で開催することができた。													
② 農業品評会の部門数	5	計画値	3	5	5	5	5	要因の種類(※)							
	部門	実績	3	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		令和4年度の事業計画段階において、梨・ぶどう品評会及び梨立毛品評会については既に中止することが決定していた。夏野菜品評会、農産物品評会、植木・盆栽品評会については計画通り実施することができた。													
事務事業名称	農業体験推進事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 農業体験講座数	5	計画値	5	5	5	5	5	1	2	3	4	5	6	7	8
	講座	実績	4	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		計画していた講座のうち農業プチ講座については、講師となる農業者を確保することができず実施することができなかった。													
		計画値						要因の種類(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															
事務事業名称	農業公園管理運営事業		主担当部課名	生活環境部 産業振興課			事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ							B	1							
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① 西府町農業公園の農業体験講座数	4	計画値	6	6	6	6	6	1	2	3	4	5	6	7	8
	講座	実績	6	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症には配慮しながら計画通りの講座を実施することができた。													
② 西府町農業公園の収穫体験イベントの実施回数	8	計画値	8	8	8	8	8	要因の種類(※)							
	回	実績	8	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症には配慮しながら計画通りの講座を実施することができた。													

(※)要因の種類

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	農業まつりや農業品評会、市民農業大学等の各種の農業体験講座の実施、市民農園や農業公園の運営などを通じて、市民が農業とふれあう場の提供と都市農業のPRに努めたほか、西府町農業公園においては、地域の農業者の協力による新たな農業体験講座を開始し、市民と農業とのふれあいを推進する取組の充実を図ることができた。			
今後の展開	現状の取組を継続して実施しつつ、各種のイベントや農業体験講座については、より魅力的な企画となるよう、研究・検討する。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
農地・農業の多面的機能に係るPRや市民が農業と触れ合う機会の創出に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
より多くの市民の農地・農業への関心を引き出し、理解を深めるため、農業者や農業関係団体との協働により、農業まつりや農業品評会、各種の農業体験講座等を実施し、市民に農業と触れ合う機会を提供する。	従前からの取組を継続して実施するとともに、新たに農業公園において地域の農業者の協力による農業体験講座を実施するなど、地域との協働の推進を図る。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<ul style="list-style-type: none"> ▼農業まつりの開催 ▼農業品評会の開催 ▼各種の農業体験講座の実施 ▼学童農園事業の実施 	協働による相乗効果を得ることができ、その効果を市民に還元することができた	従前からの取組を継続して実施するとともに、地域と連携・協働した取組を広げながら、より魅力的な農業体験講座やイベントの企画について研究・検討する。